



編集発行
高田高校同窓会事務局
〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町字長砂78-12
電話 0192-55-3153(番代)
印刷
タクミ印刷(有)



絆を未来へ 希望の新年と卒業生へのエール

同窓会長 熊谷 広克

新年を迎え、皆様が健やかに穏やかな日々をお過ごしであることを心よりお慶び申し上げます。今年は巳年を迎えました。古来より、蛇は「知恵」と「再生」の象徴とされており、私たちがこの象徴に倣い、変化を恐れず挑戦を重ねながら、共に成長する一年としたいと願っております。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、このたび同窓会長を拝命いたしました。同窓会は、卒業生同士がつながり、互いを支え合う大切な場です。在京、仙台、盛岡の各支部を中心とした交流や在校生への支援を通じて絆を深め、卒業生にとってさらに身近で意味のある活動を目指してまいりたいと考えております。微力ではございますが、皆様のご

指導とご支援を賜りながら責任を全うしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年を振り返りますと、国内では能登半島を中心に地震が相次ぎ、多くの方々が困難に直面されました。また、世界では紛争や自然災害が多発し、改めて平和と安定の重要性を痛感する一年でもありました。そのような中、新年を無事に迎えられることに感謝するとともに、皆様都希望に満ちた一年を送られることを心より願っております。

さらに、東日本大震災から十四年の歳月が経過しました。当時幼かった世代が、復興とともに成長し、地域の未来を担う存在へと育っていることに、深い感慨と希望を覚えます。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により学校生

活や地域行事が制約を受けた時期もありましたが、感染症法上の分類が二〇二三年五月に第五類へ移行してから二年が経過し、まだまだ予断は許しませんが、ようやく以前の日常を取り戻しつつあります。在校生が文化祭で生き生きと活動する姿や、学校のホームページで紹介される明るい様子を拝見するたび、青春の日々が再び息を吹き返していると感じます。

間もなく卒業を迎える在校生の皆さんへ、心からの祝福とエールをお送りします。高田高校での学びと経験は、これからの人生を支える貴重な財産です。友人との絆や得た知識は何物にも代えがたい宝物となるでしょう。どのような道を進んでも、自分自身を信じ、高校での経験を基盤にして未来に向かってください。陸前高田市出身の佐々木朗希選手が「地道な努力の積み重ねが未来をつくる」と語ったように、日々の小さな努力がやがて大きな夢や目標を実現する力となります。皆さんが新たなステージに挑む中で、失敗を恐れず学び続ける姿勢を大切に、どんな壁に直面しても乗り越えていけることを願っています。希望に満ちた未来が皆さんを待っていることを信じています。

最後に、同窓生の絆は、卒業後も色褪せることのない貴重な財産です。このつながりを大切に育みながら、共に未来へ歩んでまいりましょう。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

校長 菅野 幸貴

高田高校同窓会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に格別のご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。また、本年度の同窓会総会をもって勇退された伊藤清子会長におかれましては、二〇一四年から長年にわたって同窓会会長を務められ、同窓会はもちろんのこと、本校の復興発展にご尽力賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も生徒たちは、学習や部活動、生徒会活動、特別活動等、多方面にわたって活躍してくれました。学習面では、授業はもちろんのこと、タクシオンと呼ばれる「総合的な探究の時間」において、高田松原の再生活動をはじめとする地域貢献活動や、立教大学と連携しての地域探究活動等に意欲的に取り

組んでいます。これらの探究的な学習活動が評価され、今年度、文部科学省のDXハイス쿨の指定校として補助金二千万円が交付されました。現在、生徒たちのよりよい学びにつながるよう、デジタル環境の整備や探究学習の充実のために活用しているところであります。部活動においては、女子ソフトテニス部が個人戦で北部九州インターハイに出場し、卓球部では県新人大会の女子シングルスで六十八年ぶりの優勝を果たしました。新聞委員会は全国高総文祭岐阜大会に出場するとともに、今年も県のコンクールで最優秀賞に輝き、次年度の香川大会への出場も決定しています。国際交流事業に関しては、六月下旬にクレセントシティのデルノータ高校から四名の短期

在京支部

支部長 松野 忠彦

高田高校同窓会の皆様におかれましては、ご健勝ご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は一月一日より能登半島地震、翌二日には羽田空港の日航機衝突事故の幕開けから、パリオリンピックに大谷翔平の結婚と「50-50」の達成、衆院選での与党の大敗、そしてトランプ大統領の返り咲きと国内外問わずの衝撃的なニュースがありました。

毎年楽しみなふるさと納税を見ていたところ、陸前高田市が返済不要の給付型奨学金事業として一六〇〇万円の支援プロジェクトが有ることが分かり、妻に相談して即決で寄付させて頂きました。その寄付金も二〇二五年一月七日現在で

仙台支部

支部長 沼田 敏子

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

仙台支部ではコロナ禍以降、支部会の開催をしております。

最近、街を歩くことも多くの外国人観光客を目にします。二〇二四年九月の宮城県での外国人宿泊者は、五万三七九〇人となり、前年の九月に比べておよそ一万三〇〇〇人増え、九月としては過去最多を記録したそうです。活気が戻りとても賑わっているのをはつきりと感ずることができそうですので、今年こそは支

盛岡支部

支部長 小山 浩史

同窓会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年は一月一日の能登半島地震に始まり、日本も世界も過去最高の平均気温を記録し、猛暑や豪雨等の自然災害が頻発する一年でした。とりわけ、東日本大震災を想起させる甚大な被害に遭われた能登地方の皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

今年も東日本大震災から十四年目になりますね。高田も建物や道路等が整備され、復興は進んでいるように見えます。高田高校のホームページを開くと、

は三二〇〇万円が集まり目標の倍近くになりました。

東日本大震災より、もうすぐ十四年が経とうとしておりますが、多くの犠牲と未だに続く金銭的な生活苦による進学や夢の断念が有るかと思われま

これまでも貸付型奨学金が多々実施されておりますが、卒業後働き始めても返済する事が難しく、さらなる生活苦に陥る事例も多々聞いております。そういった点からもこの様な給付型支援金の事業は様々な手段を用いても継続して行くべきであると思ひます。ふるさと納税で美味い海産物やチケットも良いですが若い方達の夢のお手伝いが出来るという、何物にも代えがたい心の満足感(自己満と言われても関係無し)が最高です。更に、この寄付金は陸前高田市関係者だけでなく、多くの他の地域の

部会の開催を目指したいと思ひます。昨年の十二月、久しぶりに岩手へ旅行し、奇跡の一本松や高田高校を訪れました。私が過ごした頃とはすっかり変わっていました。古い友人と会うこともでき、当時を懐かしく思い出しました。高校卒業後、私は東京の学校へ進学しました。もう六十年以上も前の話です。女子バレー部の先輩が東京にいたので、大会への進学は怖さや不安よりも、先輩がいるという安心感のほうが大きく、迷う事なく進路を決めたのを覚えています。これまで先輩方が歩んでこられた道の先に皆さんの今、そして未来が繋がっているのかもしれない。皆

運動部や文化部の全国大会出場や体育祭・文化祭等での生き生きとした姿、真摯に復興教育活動に取り組む様子などを知ることが出来ます。震災を乗り越えて前に進むという意気込みが伝わってきてうれしく思いました。また高田松原では、植樹した四万本の松の木が三(四メートルほど)に成長していますが、「クズ」というツル性の植物が絡み、すでに約二百本の松が枯死しているとのこと、生徒約百名が参加しての草刈り作業が行われたとの報告もありました。高田松原の一本松、そして新たに植樹された松は、多くのボランティアがかわり復興のシンボルともいえるものなので、今度は「クズ」で失われることのない

さん迷ったり困ったりした時、同窓生の存在が力になる事がきつとあるでしょう。今は無料でビデオ通話ができたり、スマホで送金したりすることが出来ます。昔は仕送りがいつ送られてくるのかと、心配しながら生活したものです。そして上京してからは、田舎者だと思われぬように必死だったことは今では笑い話ですね。

令和七年度は支部会を開催し後輩達へ仙台支部を託したいと考えております。若い方々なら、話題のSNSを使うなどして、広く、活発に仙台支部を盛り上げていくことができるでしょう。期待しています。

いように願っています。生徒たちの活動には本当に感謝です。

さて盛岡支部ですが、昨年は支部総会(隔年実施)を行いました。高田へのバスツアーを再開したいとの声もありましたが、こちらも残念ながら実施できませんでした。年々盛岡在住の同窓生とのつながりが弱くなり、総会への参加者の減少と固定化・高齢化が進んでいます。今年は何とか支部総会を実施し支部存続の流れを作りたいと思ひます。総会を同級会の場として活用していただければ幸いです。母校高田高校と陸前高田市の益々の発展を祈念しております。



女子ソフトテニス部



令和6年度北九州インターハイ出場 野口・林

女子卓球部



第70回岩手県新人大会シングルス第1位 千田 一華

新聞委員会



第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会参加



壮行式



生徒総会



大野海岸清掃



入学式



避難訓練



保育実習



デルノート高校来校



体育祭



野球応援



修学旅行



共同実習船 命名・進水式



海洋システム科

